

東由利町の財政状況

東由利町告示 第 16 号

財政報告書の作製及び公表に関する条例
(昭和30年条例第20号)に基づき、財政
状況を次のとおり公表する。

昭50和年 5 月 1 日

東由利町長 小 松 栄 男

東由利町の財政状況について、昭和50年度予算と昭和49年度下
半期(10月～3月)における財政状況について、そのあらましを
公表いたします。

昭和50年度一般会計予算の概要

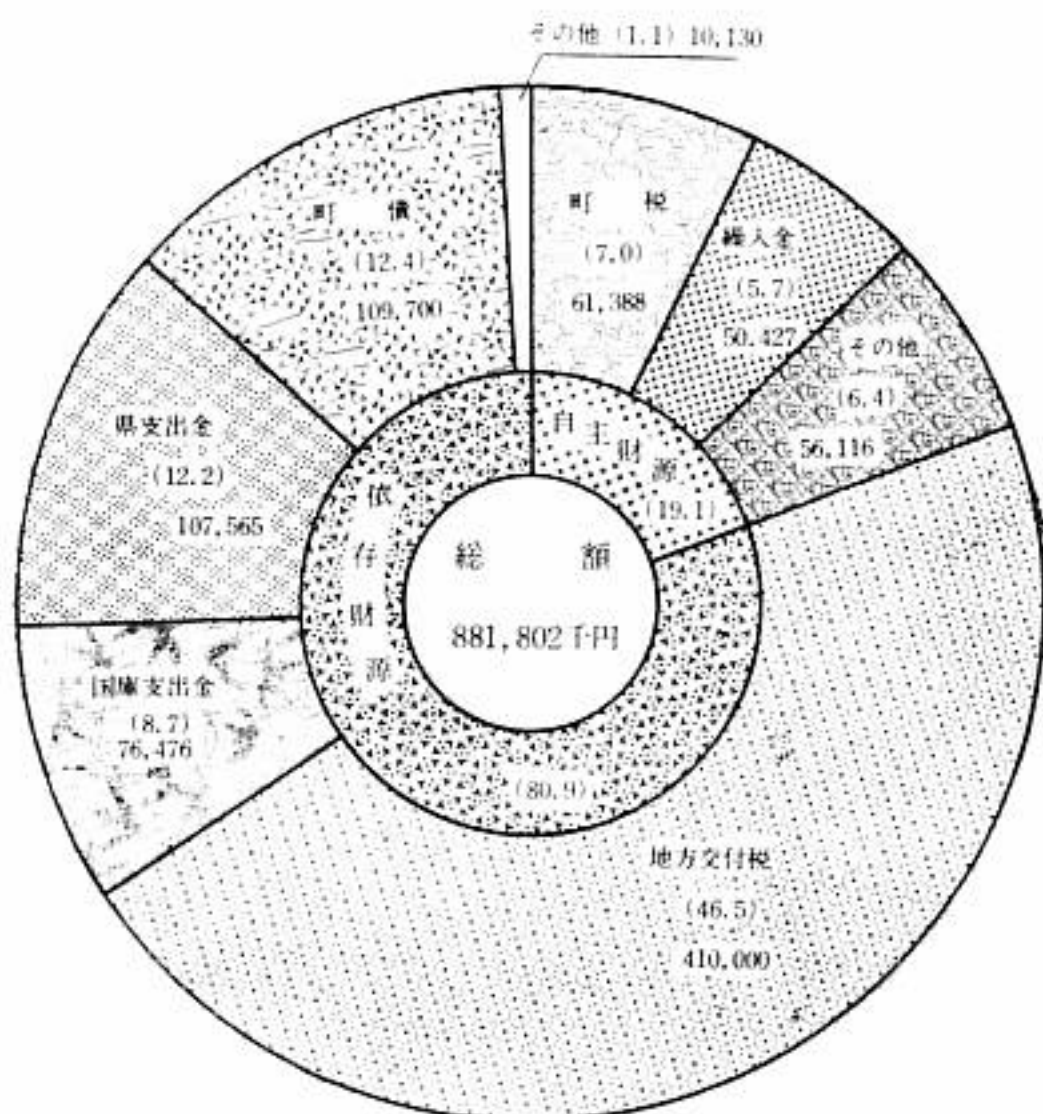
昭和50年度一般会計の予算は、去る3月22日に議決されました
新年度の予算規模は8億8,180万2千円となり、道路整備事業、公
民館建築事業、玉米小屋内運動場危険改築事業、蔵小増築事業、
除雪機械購入事業などが計画されております。

1 歳入の状況

これらの資金は、国庫・県支出金・起債等に依存するところが
大きく、項目別に分けてみると、図表1で示しておりますが、地
方交付税は4億1,000万円(46.5%)国庫支出金7,647万6千円(
8.7%)県支出金1億756万5千円(12.2%)町債1億970万円(12
.4%)その他1億7,806万1千円(20.2%)となっております。

図表1 予算項目別歳入の構成状況

() 内の数字はパーセント単位：千円



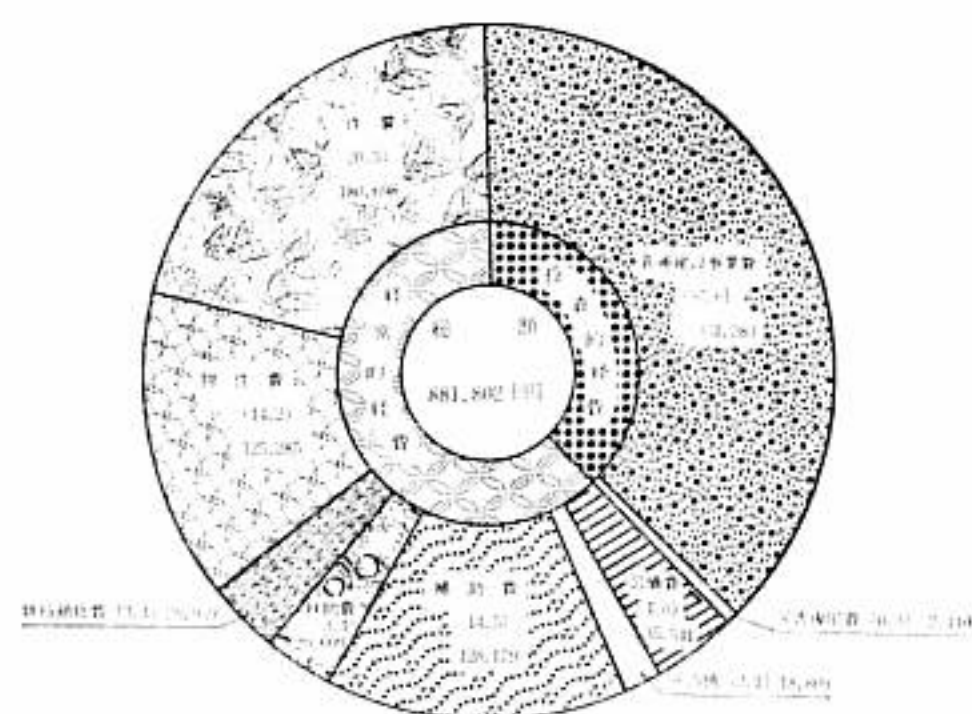
(写真) 蔵上里線49年度完成

万2千円(22.2)教育費2億3,412万7千円(26.5%)総務費1
億4,247万6千円(16.1%)を占め、土木費、消防費が、これにつ
づく主な経費となっております。

歳出を性質別に示したのが、図表2です。
普通建設事業費は、3億3,128万3千円(37.6%)となっており前
年度の当初普通建設事業費2億144万8千円に比べて約1億2,983
万5千円増加しております。

図表2 性質別歳出の状況

() 内の数字はパーセント単位：千円



2 歳出別状況

歳出を目的別にみると、農林水産業費が最も多く1億9,534

次の別表1では、事業費の主なものを示しておりますが、農林
水産業費では、克雪管理センター建築事業(法内地区)土地改良事
業、草地開発事業、いこいの森造成事業、杉森線林道開設事業な
どがあり、土木関係では、蔵上里線改良事業、新沢線改良事業、
除雪機械購入事業、災害復旧事業、教育関係では、公民館建築事
業、玉小屋内運動場危険改築事業、蔵小増築事業費となっており
ます。その他除雪機械車庫建築事業費などが計画されております

別表 1 昭和50年度の主な建設事業

(単位：千円)

事業名	予算額	事業名	予算額
公民館建築事業	55,364	草地開発事業	4,040
玉小屋運動場危険改築事業	71,642	県営土地改良事業	5,332
蔵小学校増築事業	10,632	団体営土地改良事業	29,039
蔵上里線改良事業	12,000	石高農道関連事業	1,331
除雪機械購入事業	10,650	克雪管理センター建築事業	20,716
杉森線林道開設事業	9,298	造林事業	15,110
防火水槽整備事業	2,000	いこいの森造成事業	6,500
除雪機械車庫建築事業	20,174	新沢線改良事業	7,875
福祉バス購入事業	3,190	台山線改良及び舗装事業	16,190
老人居室整備資金貸付事業	2,500	その他道路橋梁改良事業	13,768
児童遊園施設整備事業	900	小型ポンプ購入事業	1,300
県単小規模土地改良事業	9,141	災害復旧事業	2,440
産業道路整備事業	2,600	合 計	333,723

2 東由利町簡易水道特別会計

昭和50年度東由利町簡易水道特別会計予算規模は1,310万9千円となっており、歳入は、事業収入1,144万4千円、その他166万5千円となっております。

別表 2

(単位：千円)

歳入	予算項目	予算額	歳出	予算項目	予算額
	1 国民健康保険税	66,924		1 総務費	7,953
入	2 使用料及び手数料	26	出	2 保険給付費	191,235
	3 国庫支出金	133,397		3 保険施設費	5,148
	4 財産収入	2,182		4 基金積立金	2,154
	5 繰入金	9,696		5 公債費	1
	6 繰越金	4,000		6 諸支出金	38
	7 諸収入	304		7 予備費	10,000
	歳出合計	216,529		歳出合計	216,529

3 その他の特別会計

東由利町黒淵診療所特別会計、玉米財産区特別会計の予算はそれぞれ次のとおりです。

(単位：千円)

会計名	歳入	歳出
東由利町黒淵診療所特別会計	1,381	1,381
玉米財産区特別会計	10,948	10,948

昭和50年度特別会計予算の概要

1 国民健康保険事業勘定特別会計

国保会計の歳入は保険税6,692万4千円、国庫支出金1億3,339万7千円その他1,620万8千円、前年度に比べて約6,941万5千円の増となっております。

特に税の伸率39.3%と大きく見込んだ理由は、49年度より実施された老人医療の無料化、高額療養給付の拡大等、医療費の7割給付分に大きく波及したことが、税を増額した理由となっております。

別表 2 は予算項目別歳入歳出の状況です。

昭和50年度町税住民負担の状況

普通税		国民健康保険税	
50年度1人当り	8,266円	50年度1人当り	12,596円
49年度1人当り	7,416円	49年度1人当り	8,743円



昭和49年度下半期の財政状況

1 一般会計予算

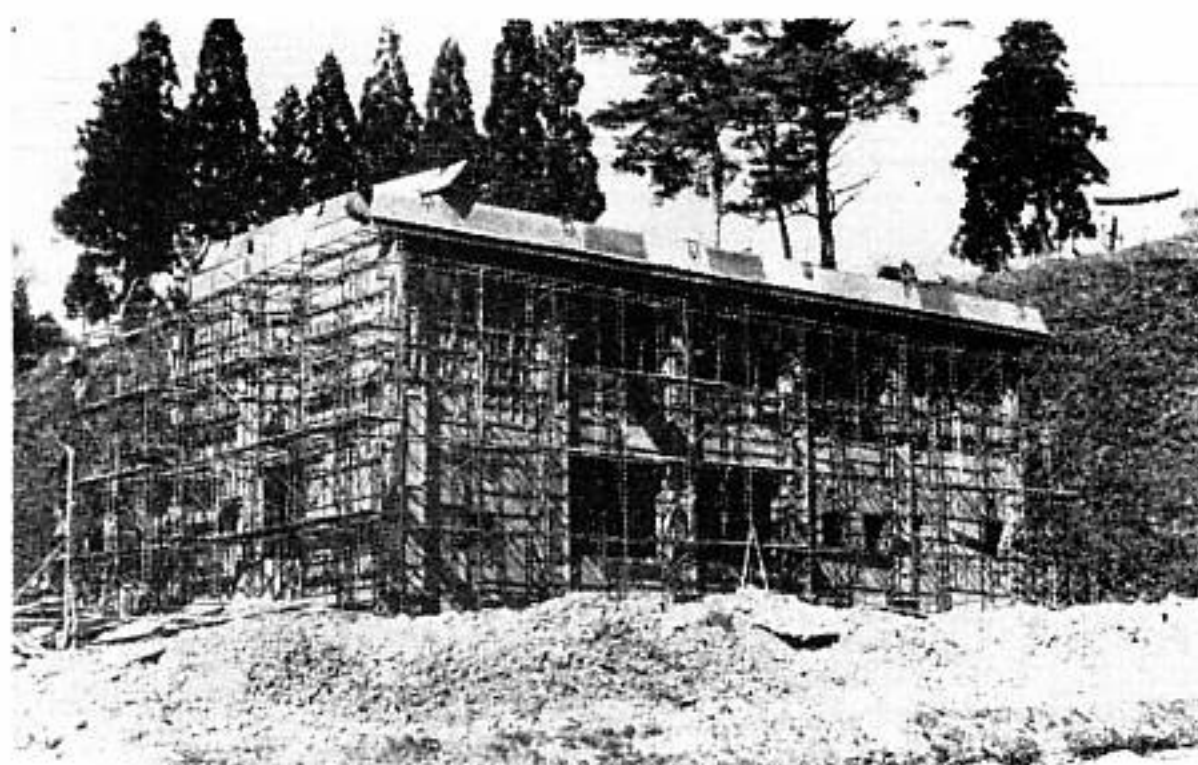
昭和49年度の一般会計予算は、当初6億3,984万4千円でしたがその後数次にわたり1億9,900万9千円が補正されて最終予算は8億3,885万3千円となり補正された主なものは、老人憩いの家建築事業費、農業総合指導センター費、畜産業費、県単農地造成事業費、道路新設改良及び道路維持費、簡易水道事業費、本荘地区消防事務組合負担金、遠距離通学費補助金、その他人件費、一般管理費などとなっております。

3月末現在で収入総額は、7億5,861万4千円で予算に対し、90.4%収入済になっておりますが、特に末収額の大きいものは、国・県支出金・町債などになっており、5月末日までには収入済になります。

別表1 昭和49年度一般会計歳入予算と収入状況

(3月末収入済額)

予 算 項 目	予算額	収入済額	差引額	収入率
1町 税	54,424	57,994	3,570	106.6%
2地 方 譲 与 税	3,800	3,663	△137	96.4
3自動車取得税交付金	4,200	5,112	912	121.7
4地 方 交 付 税	423,363	423,363	0	100.0
5交通安全対策特別交付金	—	—	—	—
6分 担 金 及 び 負 担 金	6,780	1,165	△5,615	17.2
7使 用 料 及 び 手 数 料	3,728	3,844	116	103.1
8国 庫 支 出 金	41,621	31,701	△9,920	44.3
9県 支 出 金	98,016	62,516	△35,500	63.8
10財 産 収 入	8,993	7,693	△1,300	85.5
11寄 附 金	8,092	60	△8,032	0.7
12繰 入 金	61,908	56,408	△5,500	91.1
13繰 越 金	16,500	16,555	55	100.3
14諸 収 入	18,228	16,140	△2,088	88.5
15町 債	89,200	72,400	△16,800	81.2
歳 入 合 計	838,853	758,614	△80,239	90.4



(写真) 克雪管理センター建築工事状況

2 歳出予算と執行状況

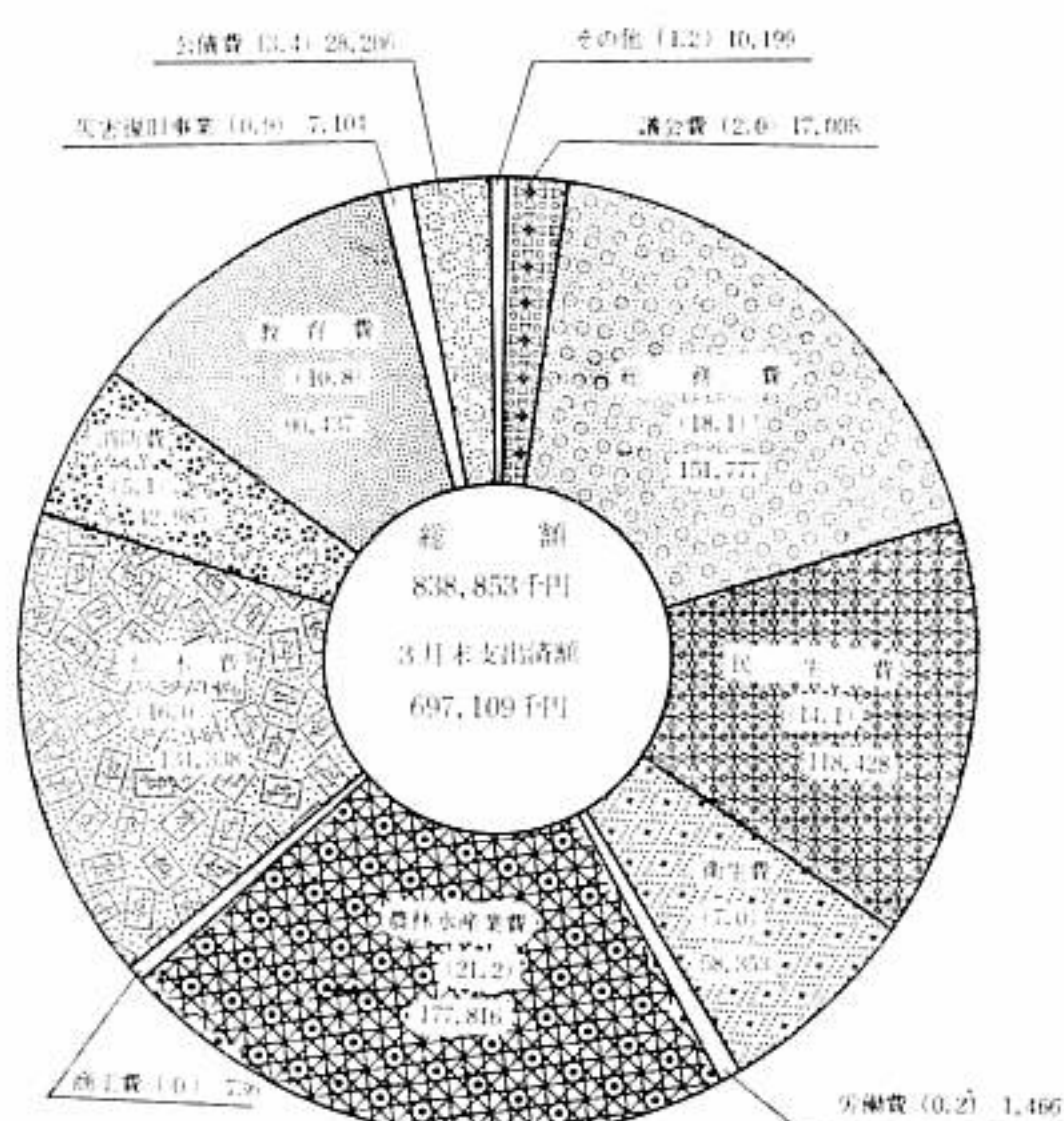
歳出予算を目的別に示したのが、図表1です。

農林水産業費が最も大きく、1億7,781万6千円(21.2%)総務費1億5,177万7千円(18.1%)土木費1億3,433万8千円(16.0%)民生費1億1,084万8千円(14.1%)教育費9,043万7千円(10.8%)衛生費、消防費公債費がこれにつづいて大きな支出になっております。

49年度の本町の農林水産業費、総務費、土木費が特に大きかったのは農林水産業費で、十二ノ前圃場整備事業、小規模土地改良事業、県営土地改良事業、造林事業、いこいの森造成事業、林道や牧道事業などになっており、土木費には、蔵上里線改良事業、除雪機械購入事業、下吹線改良及び舗装事業、下小屋橋架替事業民生費には老人憩いの家建築事業、教育費にはスクールバス購入事業などとなっております。

図表1 昭和49年度一般会計目的別歳出予算状況

() 内の数字はパーセント単位:千円

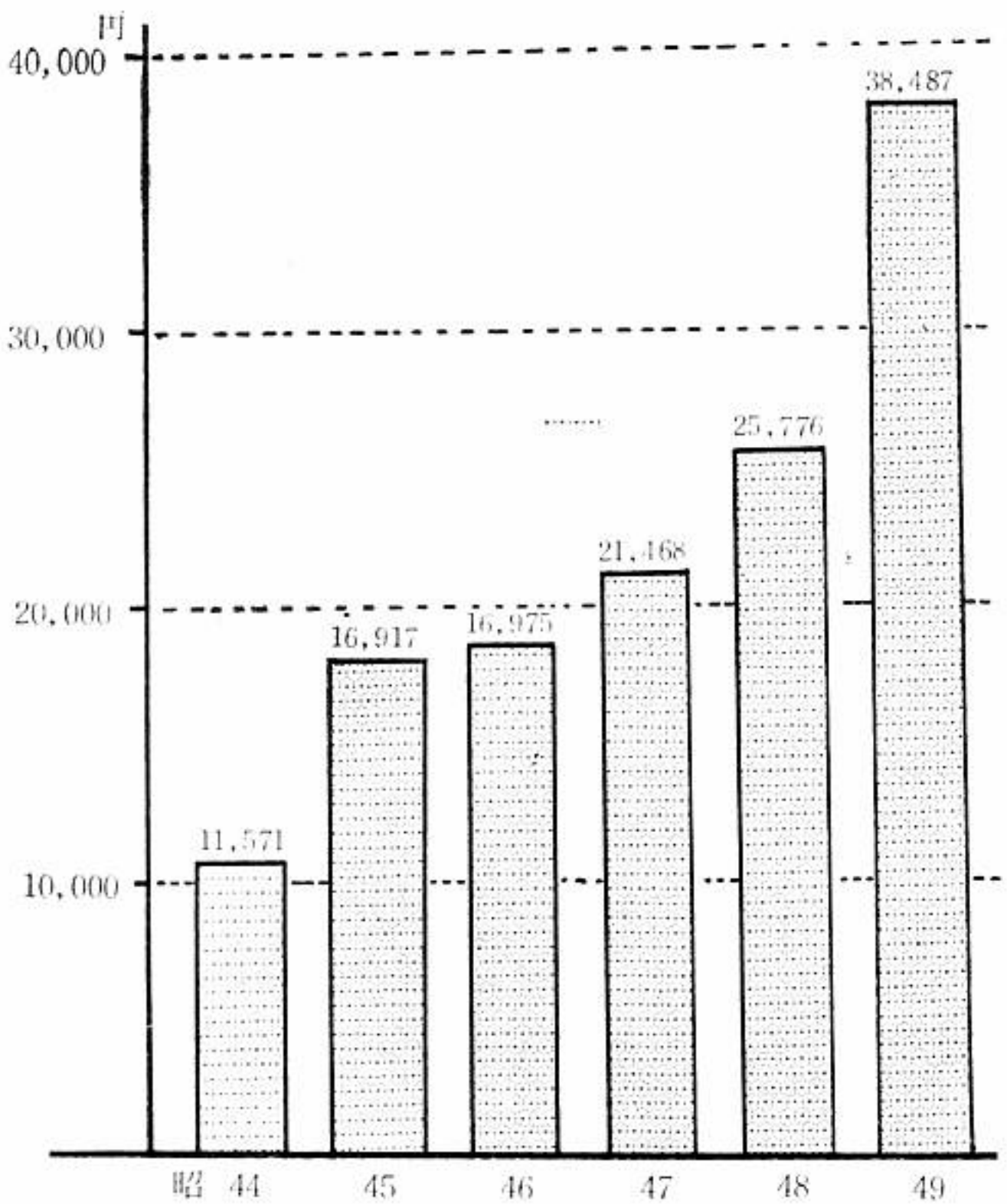


別表2 主な建設事業の状況 (単位:千円)

事業名	事業費	事業名	事業費
大琴診療所建築事業	19,246	いこいの森造成事業	5,580
蔵上里線改良事業	9,000	県単農地造成事業	3,599
除雪機械購入事業	13,980	新沢線改良事業	7,607
防火用水整備事業	1,590	根小屋線改良事業	2,500
スクールバス購入事業	4,135	下吹線改良及び舗装事業	16,148
老人憩いの家建築事業	65,423	蔵新田線舗装事業	1,787
患者輸送車購入事業	2,065	下小屋橋架替事業	21,610
造林事業	12,810	檜木沢橋架替事業	1,800
坪倉線林道改良事業	2,130	臼ヶ沢橋架替事業	1,440
十二ノ前圃場整備事業	2,678	災害危険住宅移転事業	1,000
小規模土地改良事業	6,849	土場沢線災害復旧事業	2,642
県営土地改良事業	3,957	軽井沢線災害復旧事業	1,569
克雪管理センター建築事業	10,120	合 計	221,263

昭和49年度国民健康保険事業勘定特別会計予算と執行状況
昭和49年度国民健康保険事業の予費は1億6,998万8千円で前年度最終予算1億1,445万2千円に比べて2,553万6千円(9.7%)増になっております。
医療費や受診率が年々高くなっており、この6年間1人当りの費用額がどのように伸びているかを示すと次のようになります。

図表2 医療費1人当りの費用額状況



国民健康保険事業の歳入は次の別表3で示してあるように、国民健康保険税と国庫支出金が主なもので、総額の90.7%を占めております。

収入済額は1億3,205万8千円で予算の77.7%となっており支出済額は1億3,756万8千円で予算額の80.9%となっておりますが、保険給付費が著しく大きくなったため、3月末現在で560万円の不足を生じたが、一時借入金をもって給付しております。

別表3 (単位:千円)

予算項目	予算額	予算項目	予算額
1国民健康保険税	48,055	1総務費	7,151
2使用料及び手数料	26	2保険給付費	153,117
3国庫支出金	105,997	3保険施設費	3,995
4財産収入	2,041	4基金積立金	2,041
5繰入金	10,200	5公債費	1
6繰越金	3,471	6諸支出金	2
7諸収入	198	7予備費	3,681
歳入合計	169,988	歳出合計	169,988

その他特別会計予算と執行状況

黒淵診療所特別会計、簡易水道特別会計、玉米財産区特別会計の各会計予算と執行状況は別表4のとおりです。

別表4 (単位:千円)

会計名	歳入予算	収入済額	歳出予算	支出済額
黒淵診療所特別会計	1,230	909	1,230	902
簡易水道特別会計	55,884	28,267	55,884	16,144
玉米財産区特別会計	874	4,325	874	768

＝おわりに＝

以上昭和50年度予算と、昭和49年度下半期における予算執行のあらましを説明しましたが、今後数年間にわたって計画されている事業を遂行するには、このような時勢でありますから、ますます財政需要が増加するものと思われ、数多くの困難も予想されますが、なお一層努力して皆様のご期待に添うつもりであります。

皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げる次第であります